

農業機械のインターフェースデザイン開発

Interface Design Development of Agricultural Machine

製品技術部 万城目 聡

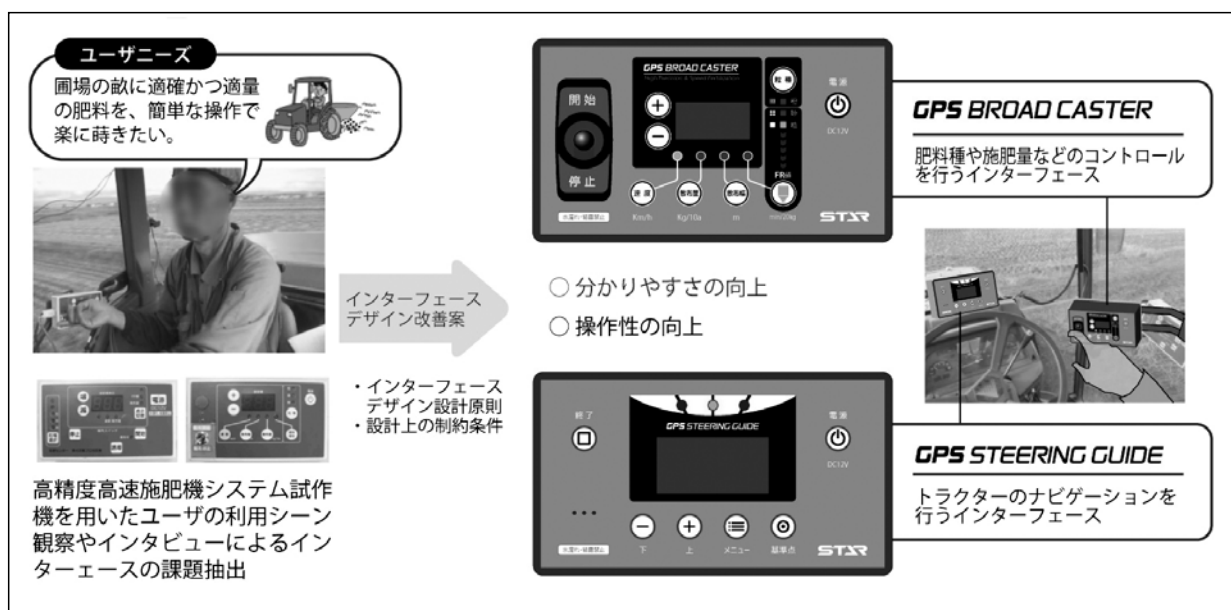
■指導の背景

当該企業は、田畑に肥料を撒く施肥作業のより一層の高度化と簡易化を目指し、GPS（現在位置を測定するためのシステム）を活用したトラクター車両の行程ナビゲーションと、トラクターの車速に連動して最適な施肥量を自動的にコントロールすることができる、高精度高速施肥機システムを開発しました。

今回、これを商品化するにあたり、GPSによるナビゲーションの設定や、目的に応じて施肥量のコントロールなどの各種操作を行うインターフェース部分についてデザイン開発支援を行いました。

■指導の要点

1. ユーザの利用シーン観察とインタビューによる課題の抽出、改善
2. 分かりやすく、操作しやすいインターフェースの在り方検討
3. インターフェースのグラフィックデザインのまとめ方



■指導の成果

1. インターフェース試作機を用いてユーザの利用状況観察や使用感に関するインタビュー調査を実施したことで、試作機の改善方向を具体的に把握することができました。
2. インターフェースのケース形状やスイッチ類など、仕様上の制約条件を踏まえつつ、より分かりやすく操作しやすいインターフェースデザインを実現できました。
3. 2011年4月発売です。

(株)IHIスター 千歳市上長都1061-2 Tel. 0123-26-1122